



Kibana Dashboard テンプレート インポート操作ガイド

Revision History

Date	Version	Author	Description
2019/09/10	1.0	Y.Shigemura Y.Ebina	第 1.0 版

はじめに

本ガイドは UiPath Orchestrator、Elasticsearch、および Kibana を運用する管理者を读者として想定しており、Kibana Dashboard テンプレートのインポート方法について解説する目的で作成されたものとなります。

- ガイドの内容は 2019 年 8 月現在の情報であり、下記の通り構成されている環境を想定しています。
 - UiPath Orchestrator v2018.4.6
 - Elasticsearch 6.8.3
 - Kibana 6.8.3製品の新しいリリース、修正プログラム などによって、動作・仕様が変わる可能性がありますので、予めご留意ください。
- 本ガイドは 各コンポーネントのインストール方法については記載していません。各コンポーネントのインストール方法につきましては各コンポーネントの公式ガイドをご確認ください。
- UiPath Orchestrator v2019 FT 以降のバージョンには対応していないため、あらかじめご留意ください。
- 本ガイドに含まれる情報は、弊社では細心の注意を払っていますが、本ガイドに記載された内容の正確性や妥当性に関して、UiPath は何ら保証するものではありません。従って、本ガイドに含まれる情報の利用またはこれらの技法の実施はご自身の責任においてご使用下さい。UiPath は、ガイドの内容によって受けたいかなる損害及び費用に関して補償しません。
- 本ガイドに関する一切の権利は弊社又はその他の権利者に帰属します。本ガイドに関する著作権は、弊社又はその他の権利者に帰属しており、著作権法その他の法令で保護されています。著作権者及びその他の権利者の許諾を得ることなく、これらの情報を使用(複製、改変、転載などを含みます)することは、著作権法により禁止されています。
- 本ガイドで使用される会社名、製品の商品名及びロゴマークは、弊社、そのグループ会社、又はそれぞれの権利者に帰属している商標又は登録商標です。権利者の許諾を得ることなくこれらを使用することは法令により禁止されておりますので、事前に当社にご連絡の上許諾を得ていただくようお願いいたします。
- UiPath、UiPath Orchestrator、UiPath Robot、UiPath Studio および UiPath ロゴは、世界の多くの国で登録された UiPath の米国およびその他の国における商標です。
- Elasticsearch is a trademark of Elasticsearch BV, registered in the U.S. and in other countries.
- Kibana is a trademark of Elasticsearch BV, registered in the U.S. and in other countries.

本ガイドの Web リソースは下記のリンクにあります。

<https://www.uipath.com/ja/resources/knowledge-base/kibana-dashboard-template-guide>

Kibana Dashboard テンプレート インポート操作方法

<p>A screenshot of a file browser interface. At the top, there are columns for '名前' (Name), '更新日時' (Update Time), '種類' (Type), and 'サイズ' (Size). Below the columns, a single file is listed: 'uipathKB_KibanaDashboard.json' with an update time of '2019/08/02 17:51', a type of 'JSON ファイル' (JSON File), and a size of '47 KB'.</p>	<p>1. 「uipathKB_KibanaDashboard.json」ファイルがダウンロードされていることを確認します。</p>
<p>A screenshot of the Kibana dashboard home page. The left sidebar contains a navigation menu with items like Discover, Visualize, Dashboard, Timeline, Canvas, Maps, Machine Learning, Infrastructure, Logs, APM, Uptime, Dev Tools, Monitoring, and Management. The 'Management' item is highlighted with a red box. The main content area shows various dashboard options like APM, Logging, and Metrics.</p>	<p>2. Kibana 管理画面にアクセスし、トップ画面が表示することを確認します。 確認後、左ペインで[Management]をクリックします。</p>
<p>A screenshot of the Kibana Management page. The page lists various management tasks such as Index Management, Index Lifecycle Policies, Rollup Jobs, Cross Cluster Replication, Remote Clusters, License Management, and 7.0 Upgrade Assistant. Under the 'Kibana' section, there are options for Index Patterns, Saved Objects, Spaces, Reporting, and Advanced Settings. The 'Saved Objects' option is highlighted with a red box.</p>	<p>3. [Saved Objects]をクリックします。</p>

	<p>4. 画面右上に表示される[Import]をクリックします。</p>
	<p>5. [Import]をクリックします。</p>
	<p>6. エクスプローラーが表示されるため、ダウンロードした「uipathKB_KibanaDashboard.json」ファイルを選択し、右下の「Import」をクリックします。</p>

Import saved objects

Index Pattern Conflicts
The following saved objects use index patterns that do not exist. Please select the index patterns you'd like re-associated with them. You can [create a new index pattern](#) if necessary.

ID	Count	Sample of affected...	New index pattern
a68e3620-f47c-11e8-bb6a-030cb04eba49	1	Errors_Error by Robot and Process	default-*
a78e3620-f47c-11e8-bb6a-030cb04eba49	1	Errors_Error details table	default-*
e15a8c10-d38c-11e8-882b-edc517b8f920	1	Errors_Errors per Process	default-*
a68e3620-f47c-11g8-bb6a-030cb04eba49	1	Errors_Errors per Robot and Machine	default-*

Rows per page: 5

Cancel Confirm all changes

7. [Index Pattern Conflicts]が表示された場合は全てのプルダウンで「default-*」を選択し、[Confirm all changes]をクリックします。

「logflow-*」のみ表示される場合は UiPath Orchestrator v2019 FT 以降のバージョンを使用しています。(2019.4.4 以降は「default-*」に修正されています)
本テンプレートは「default-*」インデックスパターンのみ対応しています。

また Kibana 6.7.1 以前のバージョンの場合はインポートに失敗します。Elasticsearch、Kibana のバージョンアップを実施してください。

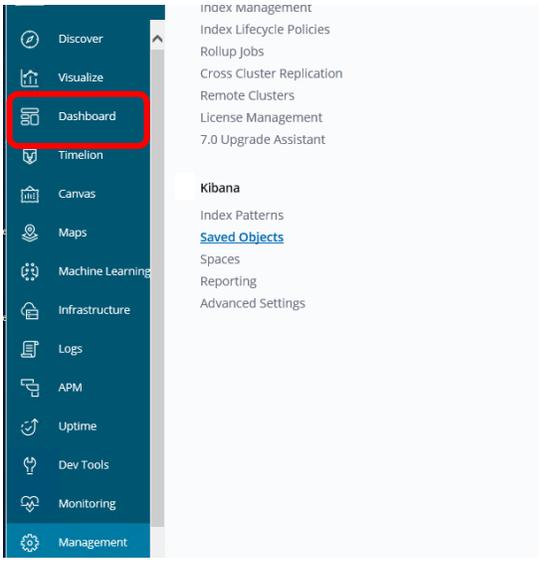
Import saved objects

✓ Import successful
Successfully imported 23 objects.

Cancel Done

8. 「Import successful」と表示されたことを確認し、「Done」をクリックします。

これでインポートは完了です。

	<p>9. 左ペインで「Dashboard」をクリックします。</p>												
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Title</th> <th>Description</th> <th>Actions</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エラー発生状況</td> <td>エラー件数やログメッセージなどからエラーの発生状況を確認できます</td> <td>Edit</td> </tr> <tr> <td>ログ出力状況</td> <td>ログ件数やログ件数の前日比などからログの出力状況を確認できます</td> <td>Edit</td> </tr> <tr> <td>端末稼働状況</td> <td>マシンの稼働状況を可視化したヒートマップなどから端末の稼働状況を確認できます</td> <td>Edit</td> </tr> </tbody> </table>	Title	Description	Actions	エラー発生状況	エラー件数やログメッセージなどからエラーの発生状況を確認できます	Edit	ログ出力状況	ログ件数やログ件数の前日比などからログの出力状況を確認できます	Edit	端末稼働状況	マシンの稼働状況を可視化したヒートマップなどから端末の稼働状況を確認できます	Edit	<p>10. ダッシュボードの一覧が表示されます。 以下の3つのダッシュボードが表示されることを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> エラー発生状況 ログ出力状況 端末稼働状況 <p>これでインポート作業は完了です。 表示させたいダッシュボードをクリックします。</p>
Title	Description	Actions											
エラー発生状況	エラー件数やログメッセージなどからエラーの発生状況を確認できます	Edit											
ログ出力状況	ログ件数やログ件数の前日比などからログの出力状況を確認できます	Edit											
端末稼働状況	マシンの稼働状況を可視化したヒートマップなどから端末の稼働状況を確認できます	Edit											

